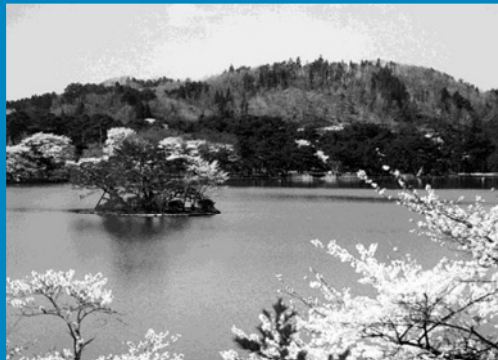


6 環境分野

～自然と共生し、潤いのある環境を未来につなぐまち～



6-1 資源循環型社会の形成



6-2 地域環境の保全



6-3 緑豊かで身近な自然環境の
保全と創出





施策 6-1 資源循環型社会の形成

めざすまちの姿

地球温暖化や資源の枯渇など地球全体の環境問題に対する意識が高まり、身近にできるごみの減量化・再資源化のための取り組みが定着することで、環境負荷の少ない資源循環型社会が形成されています。

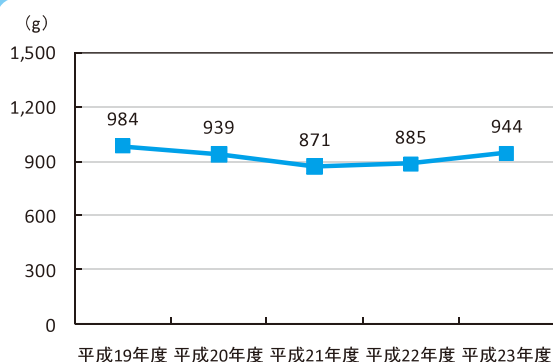
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①温室効果ガスの総排出量（市の公共施設）	t/年	4,939 (H23年度)	4,500	減少を目指す
②市民一人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	944 (H23年度)	900	減少を目指す
③年間資源回収率	%	13.0 (H23年度)	15.0	増加を目指す
④レジ袋削減協定参加事業者数	団体	6	8	増加を目指す

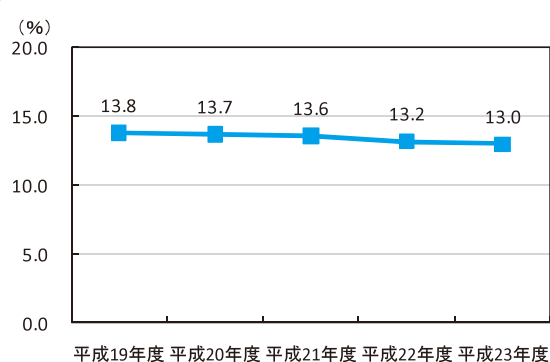
現状と課題

- 環境への負荷軽減を目指す市民活動が積極的に行われており、特に原発事故以降は、電力使用量の低減のための省エネルギー活動が活発となっています。
- マイバックスの普及、町内会や子ども会による資源回収活動が活発に行われていることから、市民一人ひとりの資源循環型社会に対する意識が向上しています。
- 資源価格が上昇傾向となっていることから、3R（リデュース：削減、リユース：再利用、リサイクル：再資源化）の重要性が高まっています。
- 不法投棄については、増加傾向にあることから、不法投棄防止の意識啓発や監視体制の強化が求められています。

市民一人1日当たりのごみ排出量の推移



年間資源回収率の推移



資料：生活環境課

主要な取組み

取組み	内容
① 資源循環型社会の普及啓発	資源が持続的に循環する社会の形成に向けた取組みを、広報紙やホームページ、各種イベント等において普及啓発することで、市民の意識高揚を図ります。 各家庭や事業所における積極的な省エネ・省資源活動を促進して、温室効果ガスの発生抑制に努めます。
② ごみ減量化・資源化・再利用の推進	マイバック推進デーなど県や小売業と連携し、レジ袋の削減からごみ減量化につなげるとともに、3R推進のため、国・県・事業者との連携を強化することで、効果的なごみの減量及び資源の再利用促進を図ります。 生ごみ処理機助成制度の促進や紙製容器包装用ごみ袋の活用により、ごみの減量化・資源化と市民の意識高揚に努めます。 各町内会の保健委員と連携して正しいごみの出し方を周知するとともに、マナーの向上を図ります。
③ 不法投棄対策の推進	地域の状況に応じて、監視カメラの設置等を進めるとともに、地域ぐるみでの監視体制を強化することで、不法投棄をしにくい環境づくりに努めます。

めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 物を大切にして、ごみ発生量の減量化やごみの分別による資源化に努めます。	市民	主要な取組み：② 成果指標：②、③
② 電気や水の節約など、環境に配慮した生活に努めます。	市民	主要な取組み：① 成果指標：①
③ 不法投棄に関する監視及び指導の強化に協力します。	市民、団体	主要な取組み：③ 成果指標：—

【主な部門別計画】 エコオフィスしらかわプランⅡ



施策 6-2 地域環境の保全

めざすまちの姿

河川などの身近な環境保全や意識向上を図るための環境学習等の機会が充実するとともに、市民の環境保全活動への参加意欲が高まることで、環境保全活動が活発に展開され、水と緑に恵まれた自然環境が保全されています。

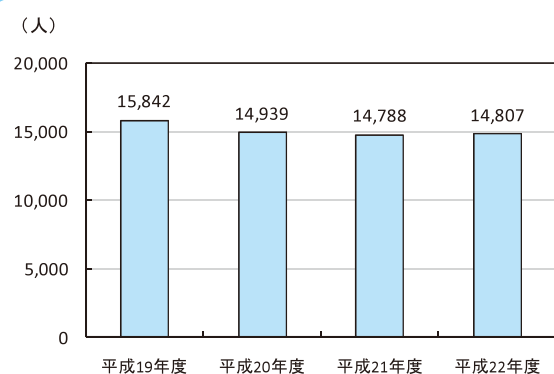
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①市内一斉清掃参加人数	人	13,650	15,000	増加を目指す
②谷津田川の水質（BOD*値）	mg/L	4.4	3.0以下	減少を目指す
③南湖の水質（COD*値）	mg/L	3.8	3.8以下	減少を目指す
④子どもエコクラブ*登録団体数	団体	1	3	増加を目指す
⑤騒音調査における環境基準達成率	%	60	70	増加を目指す

現状と課題

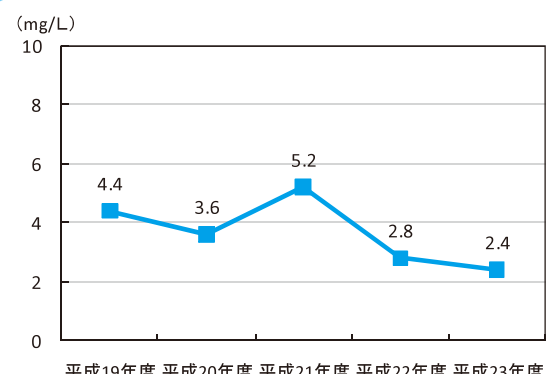
- 我が国では、平成5年に制定された環境基本法などにに基づき、公害対策や自然の保護などが進められてきました。
- 本市は、阿武隈川、南湖、権太倉山、関山など豊かな自然環境に恵まれており、子どもたちへの継承を図るため、水、大気環境の保全に取り組んできました。
- 「白河市美しいふるさとづくり条例」に基づき、美化推進地区に指定された6箇所の地域で、市民・事業者・市がそれぞれの役割に応じた環境美化活動が行われています。
- 県の天然記念物に指定されているビャッコイ等の希少野生動植物が減少傾向にあることから、効果的な保全対策が求められています。
- 工場などを発生源とする産業型の公害だけでなく、騒音や生活排水による河川等の汚濁などの都市生活型の公害が増加するなど、公害問題は多様化しています。
- 良好な生活環境を守るためには、市民一人ひとりのモラルの向上が不可欠であり、市民・事業者・市がそれぞれの立場で生活環境の保全に向けた取組みを進める必要があります。

市内一斉清掃参加人数の推移



資料：生活環境課

南湖の水質の推移



資料：生活環境課

主要な取組み

取組み	内容
① 環境美化の推進	自然豊かで美しく快適な生活環境づくりを進めるため、市民・事業者・市のそれぞれの役割について積極的な啓発活動を推進するとともに、関係団体等との連携を強化することで、市内一斉清掃や河川美化活動等の地域の自主的な環境美化活動を促進します。
② 環境保全のための教育・学習環境の充実	環境の保全に対する市民の理解を深めるため、講習会やシンポジウムを開催するとともに、出前講座やごみ処理施設の見学等を通じた環境教育・学習環境を充実します。 学校において、子どもエコクラブ等による課外授業の実施など、子どもの環境学習機会の拡充に努めます。
③ 生物多様性の保全	ビャッコイ等の希少野生動植物の生息・生育環境を保護することで、地域の生物多様性の保全に努めます。
④ 環境汚染の防止	県や関係機関と連携し、水質汚濁や大気汚染などの公害の防止に努めるとともに、河川、湖沼等の水質調査を実施し、監視・指導体制の強化を図ります。 日常生活の身近なところで発生する騒音・振動問題等の早期解決を図るため、苦情処理相談窓口の体制を充実・強化します。
⑤ 生活衛生環境の保全	生活環境の保全及び環境衛生の改善を図るため、ごみ・し尿処理対策について、白河地方広域市町村圏整備組合と連携した取組みを推進します。 美化推進地区ごとに美化推進員によるパトロール活動を実施し、ごみのポイ捨て防止啓発活動を実施します。

めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 白河市美しいふるさとづくり条例で指定された美化推進地区の環境美化運動に参加します。	市民、事業者	主要な取組み：①、②、③、⑤ 成果指標：①、②、③
② 市内一斉美化活動に参加します。	市民、事業者	主要な取組み：①、②、③、⑤ 成果指標：①、②、③

【主な部門別計画】 白河市環境基本計画



施策 6-3 緑豊かで身近な自然環境の保全と創出

めざすまちの姿

多くの市民や観光客が集う魅力あふれる公園づくりが行われています。適切な地域緑化の推進が図られるとともに、森林や里山の保全・活用の促進により、緑豊かな自然環境が創出されています。

めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①市民参加で管理されている公園の割合	%	87.5 (84/96 か所)	89.8 (88/98 か所)	増加を目指す
②市民一人当たりの都市公園面積	m ²	21.6	23.0	増加を目指す
③南湖森林公園の利用者数	人	13,300	14,630	増加を目指す

現状と課題

- 良質で快適な生活環境の創出には、ゆとりや安らぎをもたらす公園・緑地は欠かすことのできないものです。
- 本市には、南湖、小峰城跡、白河関跡に代表される史跡を生かした公園やコミュニティの場としての身近な公園が数多く存在しています。
- 一体的で魅力ある公園づくりを進める中で、特に、史跡を生かした公園に関し、その公園ごとの特色を最大限に生かした環境整備を行うとともに、それぞれの公園を結ぶ回遊ルートなどのネットワークの形成が必要です。
- 公園の維持管理水準を高めるため、既存のボランティア活動に限らず、新たなボランティア活動の発掘と育成の体制づくりが必要です。
- 緑を守り、市民のやすらぎの場の創出に向けて、市街地や市街地周辺にある風致地区*などの維持・保全を図りながら、社寺境内や公園、道路等の緑地空間の計画的な整備に努めることが求められています。
- 緑豊かな自然環境を創出するため、森林と市民のかかわりを深め、里山づくりを進めるなど、森林や里山を保全・活用する必要があります。

都市公園の状況

単位: ha

公園名	位置(所在地)	面積
南湖公園	南湖地内	44.4
城山公園	郭内地内	9.5
友月山児童公園	豊浦沢地内	0.08
向新蔵児童公園	向新蔵地内	0.25
双石公園	双石新田地内	0.17
稲荷山公園	九番町西裏地内	0.36
高山北公園	新白河一丁目地内	0.25
高山西公園	新白河四丁目地内	0.25
一里段公園	白坂一里段地内	0.91
白河市鶴子山公園	表郷金山字鶴子山地内	3.8
白河総合運動公園	北中川原地内	11.2
しらさかの森スポーツ公園	白坂牛清水地内	19.32
白河市表郷総合運動公園	表郷番沢字久の内地内	8.89
白河市大信総合運動公園	大信上新城字原畑地内	5.88
白河市東風の台運動公園	東釜子字狐内地内	17.41
羅漢墓地	金子平地内	6.5
	合計	129.17

※平成 24 年 4 月 1 日現在
資料：都市計画課

主要な取組み

取組み	内容
① 史跡を活かした公園等の保存管理と整備	緑にあふれる美しい景観を次世代へ継承するため、南湖公園や城山公園、関の森公園の適正な保存管理と整備に努めます。 公園内の文化財の保存管理や地域と連携した公園管理、観光の拠点としての連携及び整備の強化に努めます。
② 身近な公園の維持管理と整備	身近な公園の維持管理等に多くの市民が参加できるように、公園の維持管理に関する人材やボランティア団体の育成を図ります。 災害等緊急時の避難場所と医療・物流支援活動の拠点となる防災機能を有した公園の整備に努めます。
③ 地域緑化の推進	地域にふさわしい緑化を進めるため、風致地区の維持・保全を図りながら、社寺境内や公園、道路等の緑地空間の計画的な整備に努めます。 緑化についての市民の意識を高めるとともに、市民参加を促進し、住民等と行政が一体となった緑豊かな地域づくりを推進します。 公共施設の緑化を推進するとともに、工場や住宅団地などの緑化や緑化協定の締結に向けて、啓発や指導に努めます。
④ 森林や里山の保全・活用	森林や里山の良好な環境の保全を図るため、森林が持つ多面的機能が発揮されるよう適正に管理するとともに、多様な生物の生息環境である里山の保全に努めます。 自然とのふれあいを通じて、市民が自然の大切さや生態系を理解、学習するための森林公園施設の充実を図ります。 森林環境交付金の活用などにより、森林づくりへの市民の参画を促進します。

めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 身近な緑化に努めるとともに、公園の清掃活動や維持管理に参加します。	市民、団体	主要な取組み：②、③ 成果指標：①
② 里山の魅力を再認識し、貴重な自然環境を次世代に継承するため、ボランティア活動等による里山の保全に努めます。	市民、団体、事業者	主要な取組み：④ 成果指標：—

【主な部門別計画】 白河市都市計画マスタープラン
白河市緑の基本計画